

IaaS の実現にシスコテクノロジーが果たす意義

シスコは、基盤を形成する製品、テクノロジー、設計を世界各国のサービスプロバイダー (SP) 向けに展開し、Infrastructure as-a-Service (IaaS) などの新しい高価値サービスを提供しています。サービスプロバイダーはシスコの製品やテクノロジーを使用することで、IP 次世代ネットワーク (IP NGN) やデータセンターの資産を活用する、ビジネスクラスの IT サービスを提供できるようになります。

また、シスコテクノロジーの IaaS は、柔軟なキャパシティオンデマンド機能を備え、マルチテナント機能に対応しているため、複数の顧客にわたってインフラストラクチャを提供できます。さらに、IaaS によってサービスプロバイダーのクラウドコンピューティング運用モデルが加速されるため、将来のクラウドサービスにおける競争で優位に立つことが可能です。

IaaS で解決できる課題

世界各国のサービスプロバイダーは、次のような共通のビジネス課題に直面しています。

- ・ サービス (ホスト、コロケーションなど) の利益幅の減少
- ・ 運用コストの増大
- ・ 競争圧力に対処すると同時に成長にも対応する必要があること
- ・ 既存データセンターのセットアップ手順の複雑さ
- ・ 新しいサービスを顧客へ迅速に提供できないこと

このような課題には、シスコテクノロジーの IaaS を利用して、次のように対処できます。

- ・ 高価値 IT サービス (オンデマンドコンピューティングやストレージサービスなど) の基盤を提供する
- ・ 従来のデータセンター設計と比較して、電力コスト、冷却コスト、管理コストを大幅に削減する
- ・ 新しい収益機会を生み出すと同時に、ビジネス上の IT 課題に対処する効率的なソリューションの提供を支援する

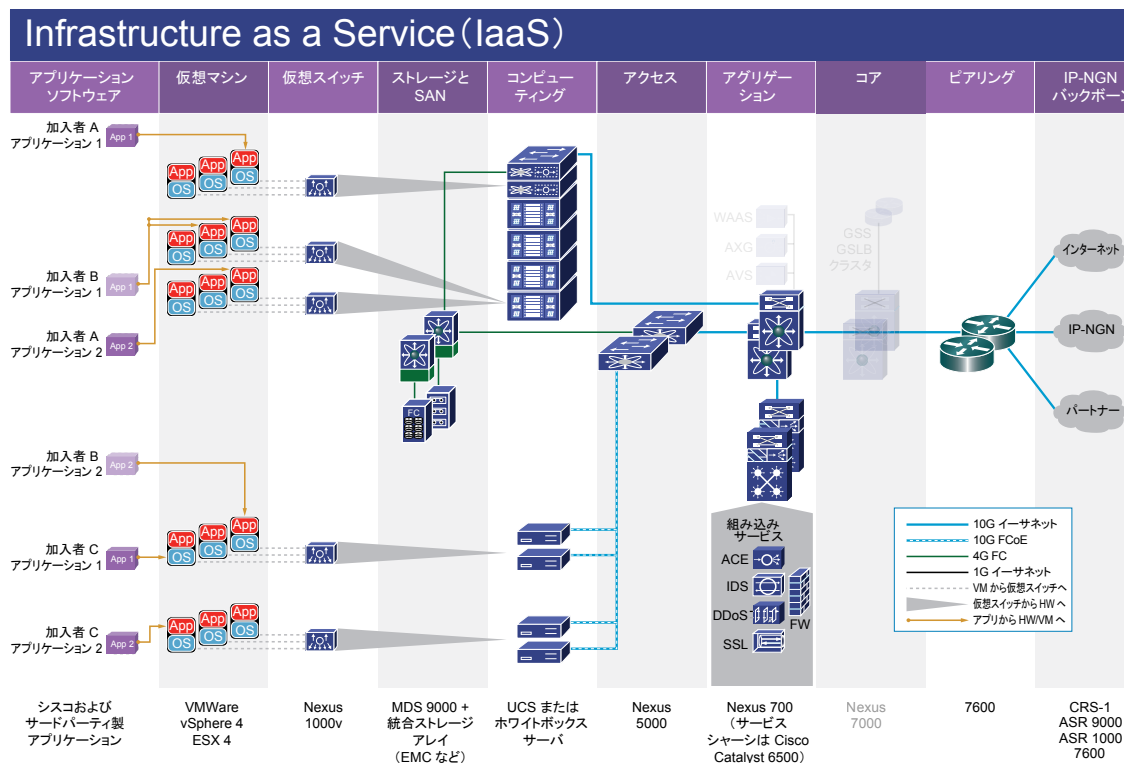
IaaS

IaaS に基づくサービスは多数ありますが、シスコはその 1 つである Compute-as-a-Service のガイドラインを作成しました。シスコテクノロジーの IaaS は、次の製品群から構成されています。

1. **コンピューティング**：Cisco Unified Computing System、サードパーティ製サーバ、VMware ESX Vi4 Hypervisor
2. **仮想アクセス**：Cisco Nexus™ 1000V
3. **アクセスおよび集約**：冗長性を備えた Cisco Nexus 5020 シリーズスイッチ、サーバに対して Fibre Channel over Ethernet (FCoE) をサポートする 10G ネットワーク

4. **ストレージアレイ**：サードパーティ製ストレージ
5. **コアスイッチ**：冗長 Cisco Nexus 7010 シリーズスイッチ、レイヤ 2 マルチパス
6. **サービスコア**：冗長性を備えた Cisco Catalyst® 6500-VSS、Cisco Application Control Engine、およびシスコファイアウォールサービスモジュール
7. **ピアリングルータ**：冗長性を備えた Cisco 7600 シリーズルータ、キャリアイーサネット (L2VPN および L3VPN)

次に、システムのネットワークダイアグラムを表す概略図を示します。



シスコは、IaaS 製品の詳細な構成ガイドと導入ガイドを作成することで、サービスを導入する際のリスクと時間を大幅に削減しました。

また、サービス プロバイダーのお客様にプロフェッショナル サービスによる支援が必要な場合は Cisco Advanced Services や他の技術チームを利用できるため、リスクと時間をさらに削減し、新しいサービスから利益を得られます。

IaaS の利点

サービス プロバイダーにとって、IaaS には次のような利点があります。

- ・ サービスの収益および利益幅増大の可能性
- ・ IT、ネットワーク エンジニアリング、およびネットワーク運用の生産性向上
- ・ データセンター内の運用コスト削減
- ・ 新しい市場への参入または拡大
- ・ 新しいサービスのより迅速な導入
- ・ セキュリティおよびアプリケーション パフォーマンス機能による競争力の向上

シスコが選ばれる理由

シスコは、アプリケーションからエンド ユーザにいたるまで、包括的な視点でビジネスの課題に取り組んでいます。シスコのサービス プロバイダー向けソリューションを利用すると、資本コストと運用コストを抑えると同時に、利益幅の高い新しい IT サービスを迅速に提供できるようになります。たとえば、次のような利点があります。

- ・ セキュリティおよびアプリケーション パフォーマンス
- ・ サービス プロバイダー クラスの拡張性、スケール
- ・ 既存のデータセンターの移行や、将来的なサービスへの対応が容易
- ・ サービスの試用や導入にかかる初期投資コストの抑制
- ・ シスコが検証した設計（サードパーティのテクノロジーを含む）
- ・ 新しいサービスを導入するリスクの軽減
- ・ 新しいサービスの迅速な導入

